

災害メモリアルアクション KOBE 舞子チーム

～舞子チーム紹介～

私たちは、阪神・淡路大震災についてもっと知りたいと思い集まったチームです。次の災害でその人にとって最良の判断ができるように、またその選択肢を増やすために神戸のコトバを伝えようと活動しています。最良の判断とは、災害で死なないことではなく後にその人が後悔をしないことだと考えました。津波の被害が今、注目されていますが津波がくる前に地震が来ます。その地震を中心に考え、阪神・淡路大震災が起こった瞬間の判断、行動を次の世代に伝えたいと思います。

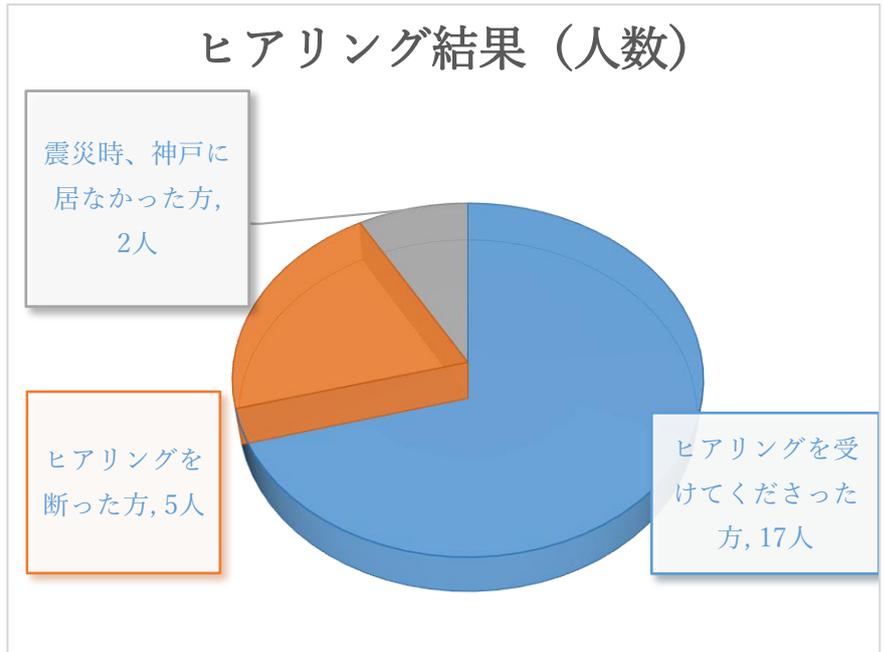
～知る～

私たちは、「神戸のコトバを知る活動」の手法として、街中ヒアリングを選び、11月28日・29日の2日間、垂水駅前で実施しました。その中で、以下のことを知ることができました。

ヒアリングでお聞きした内容

- ・ 年齢
- ・ 震災当時住んでいた場所
- ・ 阪神・淡路大震災が発生した瞬間にとった行動
- ・ 揺れている時に何を考えたか
- ・ もしこの瞬間に地震が起きたら、あなたはどんな行動をと

ヒアリング結果（人数）



ヒアリング結果（一部抜粋）

阪神・淡路大震災後何年かは、備えをしていたけれど今はしていない

発生した瞬間は、なるようにしかならなかったと思う
起きたときは、起きたとき。

阪神・淡路大震災当時は、県外にいた。発生当日は普通に学校に通学し、授業が行われた



メンバーの感想

震災を経験した人でさえ、「起きたら起きたとき」と考えていることに驚いた

自分の周りの人々も、「備え」をしている人がいないので、やっぱり思った

また、このヒアリングにご協力していただいた方に、次の世代に伝えたい一言を書きいただきました。

